

会議録

会議名 (審議会等名)	第5期第4回相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134(直通)		
開催日時	平成31年1月15日(火) 14時00分~16時06分		
開催場所	南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	20人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	17人(南区長、副区長、他15人)	
公開の可否	可 不可 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 会議の公開について</p> <p>3 報告 (1) 区民討議会の結果について (2) 高校生未来討議会~南区パーティー~の結果について</p> <p>4 議題 (1) これまでの討議内容のまとめについて (2) まちづくりの取り組み項目に係るワークショップ</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>		

審議経過

主な内容は、次のとおり。(は会長、 は委員、 は事務局の発言)

1 開会

2 会議の公開について

(1) 傍聴の許可について

傍聴希望者なし

松下会長のあいさつの後、議事が進められた。

3 報告

(1) 区民討議会の結果について

(2) 高校生未来討議会～南区パーティー～の結果について

資料に基づき、事務局から説明。

区民討議会の参加率は、過去に南区で行ったものと比べていかがか。

開催年によって今回の参加率より低い年もあった。

若プロ委員としてファシリテーターを行ったが、これまでグループワークでは、年下の方と行う機会は少なく、難しく感じた。しかしながら、年上の方とは違った親しみやすさがあった。また、思い切った高校生らしい意見もあり貴重な機会となった。

具体的にはどのような意見があったのか。

「南区って何が有名なのかわからない」「勉強場所が少ない」「不審者が多い」などである。高校生の生の声というのは、本当に大事にしなければいけないと思う。不審者が多いという意見に対しては、相模原南警察署のツイッターや安全・安心メールでは、女子高校生や若い女性を狙うという犯罪が、割と多いという印象を持っているので、事実だとは思う。そのため、防犯意識など、地域ごとに対応しなければいけないので、行政としても警察行政と連携しながら取り組んでいかなければならないと思っている。

今回、高校生の素直な御意見に対して、我々が受けとめることが信頼関係を築くことに繋がると思う。

よくこれだけの高校生が参加してくれたと思う。学校の現場や校長先生に感謝する。

生徒の声の中で、印象深かったのは地元のおじさん達に注意されると非常に効き目があるという意見である。また、交通安全に関して、学校の交通安全よりも地域でどこが危ないとか、地域の実践的な話を聞きたいという声があった。

公立と私立の高校があり、学校の中身が違うので、情報交換の意味も含めて、次回は高校生だけで話し合いをしても良いと思う。

高校生討議会の討議方法について、若い人が課題を出した後に対応を考えるということが手法として素晴らしいと思う。

4 議題

(1) これまでの討議内容のまとめについて

(2) まちづくりの取組項目に係るワークショップ

資料に基づき、事務局から合わせて説明した後、ワークショップを実施。

地域振興課長及び各まちづくりセンター所長が進行役のサポートとして、各班に2名ずつ参加した。

まちづくり会議や区民会議のワークショップでは、具体的な事業等の意見が出ていたと思うが、区の基本計画では、抽象的な表現でまとめるのか。また、実施計画で具体的なことを決めるといった話だったが、その過程はどのように行われるのか。

細くなり過ぎてはいけませんが、例示的に入るものがあるのもいいのではないかと思います。

例えば必要に応じて児童クラブという言葉を入れることはよいが、児童クラブについての事細かな計画は、実施計画になる。

実施計画は、この基本計画等が決まった後に、各担当部局で作成をしていく。その際に、総合計画を取り纏めている企画政策課から各局に、まちづくり会議の報告書など、市民参加の取組結果を参考にすることを依頼する。南区としては、各意見を踏まえて、まちづくりの取組項目(案)をまとめ、実施計画を作成する際に、各担当部局の検討に生かされるようにしていきたい。

南区として、実施計画の中に盛り込んだ方がいい項目を各担当部局へ出していないのか。これまでに頂いている意見を各担当部局へ伝えていくが、特に意見が多く挙がっているものが優先順位として高いものと考えている。

区民会議で実施計画や都市マスタープランの検討はするのか。

区民会議では、南区基本計画の答申をしていただく。

区での課題の優先順位や各地域で色々な議論をしたものが、反映されていくのが重要である。

今回は、区ビジョンをベースに、様々な意見を聞いて取組項目の案を作ったので、それを確認し完成させることが目標である。

主な発表内容

【Aグループ】

- ・子育て家庭の支援について、子育て支援者の質の担保を図るために、支援者向けの学習機会をふやし、支援者の質の向上を図りますという内容を追加したい。
- ・学習機会・環境の充実について、学習支援で地域の伝統行事などを伝えられる人材の確保と育成、これも必要ではないかと考えた。
- ・地域の防災組織の活動支援について、避難所の運営側が学ぶ機会を作る内容を追加したい。例えばアレルギーや障害のある方などの対応について、運営側が学んでいないと対応が出来ないという意見が出た。
- ・災害対応能力の向上については、市には防災マイスターがいるので、防災マイスターを活用し、地域の防災力の充実を図るということを追加してはどうかという意見が出た。

【Bグループ】

- ・全市的な取組ではなく、南区としての取組姿勢をもう少し強調すべきであり、例えば子供たちの学力・体力向上に向けたビジョンや教育格差解消に向けたビジョンも必要である。
- ・具体的ではあるが、児童クラブの増設で、校庭を減らすのではなく空き家を利用するなど、対応も考えるべきではないか。また、公園でスポーツができるように改造するなども一案である。
- ・各種支援の情報提供を、具体的、定期的に市民に知らせるべきであるということを追加する。
- ・交通手段の確保について、高齢者の活動支援という中で考えたのだが、南区の交通不便地区の解消に取り組むというビジョンを持ち、福祉と連携した交通手段の構築などを考えるべきである。ひきこもり高齢者の対策としても必要ではないか。
- ・取組項目の中で、「市」となっているところは、「区」または「区役所」とした方が良い。
- ・防災意識の向上については、もう少し具体的な手段などを入れて欲しい。

【Cグループ】

- ・子育て家庭の支援について、区ビジョンでは3つの項目で、今回1つにまとめられているが、前の方がわかりやすい。
- ・生涯学習活動の支援に、情報提供というニュアンスを入れたほうが良い。
- ・公民館活動の支援については、「事業を実施します」ではなく「事業を支援します」に変更した方が良い。
- ・教育の充実という内容を追加した方が良い。
- ・高齢者の活動支援については、文言として、自立支援という言葉が入っているが、分かりにくいので、独居老人あるいは困りごと相談等の充実というような文言やニュアンスにした方が良い。
- ・各項目の順番についても、後程考えていくと良い。
- ・健康教育等の充実については、「健康づくり」または「健康増進活動の充実」という文言に修正した方が良い。

【Dグループ】

- ・子育て家庭の支援について、子育て世代が集える場所の確保や子育ての情報提供などの支援というような形で、子育ての情報提供という言葉を入れると良い。特に話が出たのは、私たちの年代だと古い子育てのことを言いがちだが、若い世代はネットに非常に親和性があるので、子育てについてネットを利用する情報提供も良いのではないかという話も出た。時代に合わせて子育ての支援をしていくことが必要ではないか。
- ・学習機会・環境の充実について、子供が多様な学習を受ける機会という表現について、「多様」ではなく、「ニーズに合わせた」の方が良い。
- ・経済格差による学びの制限を防ぐための対策などの表現を追加すると良い。
- ・共育環境づくりについては、地域みんなで子供たちを共育するというのが、家庭だけで教育するのではないということであるなら、「子育て家庭の支援」の文言に入れてしまっても良い。
- ・犯罪防止の取り組みの推進については、高齢者に着目されがちだが、青少年はまだ社会になれていないということで、被害に遭いやすいということがあるので、青少年が犯罪に巻き込まれないような教育対策という言葉を入れてはどうか。
- ・自転車の安全対策については、高齢者も含めて自転車のマナーの向上に取り組んでもらいたいという意見が出た。
- ・災害対応能力の向上について、学校や公民館も非常に重要な役割を果たしているので、個別

名称として学校・公民館という言葉を入れた方が良いでしょう。

- ・防災意識の向上について、災害時の地域の危険箇所や避難場所などについて、「地域防災マップなどを利用して」などの文言を入れると良いでしょう。

5 その他

- ・事務局から次回の日程について、2月14日 午前10時から開催する旨報告。
また、次回会議の資料について事前に送付し、確認いただくよう依頼。

6 閉会

坂本副会長の挨拶のあと、閉会

相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	所属等	出欠席
1	安藤 晴 敏	公募委員	出席
2	飯村 和 道	女子美術大学芸術学部 教授	欠席
3	石井 正 彦	麻溝地区まちづくり会議 会長	欠席
4	井部 弥 生	相模原市民文化財団 総務課長	出席
5	大木 恵	大野南地区まちづくり会議 会長	出席
6	大坂 理 智	南区若者参加プロジェクト実行委員会	出席
7	金森 巖	相模原・町田大学地域コンソーシアム 業務部部長補佐	出席
8	嘉松 皓	東林地区まちづくり会議 会長	出席
9	牧野 里 咲	ジェイコムイースト相模原・大和局	出席
10	草薙 喜 義	相模原市社会福祉法人経営者協議会 会長	出席
11	九嶋 俊 彦	相模原青年会議所 2018 年度拡大委員会委員長	欠席
12	坂本 堯 則	相模原市自治会連合会 会長	出席
13	篠塚 実希子	相模台地区まちづくり会議 副会長	出席
14	杉本 祥 一	相模原商工会議所 常議員	出席
15	鈴木 貴 市	相模原南交通安全協会 会長	出席
16	瀬尾 守 一	相武台地区まちづくり会議 会長	出席
17	田中美 加	北里大学看護学部 教授	出席
18	中島 千 尋	相模原市地区社会福祉協議会南区連絡会	欠席
19	中村 方 子	相模原市民生委員児童委員協議会 会計	欠席
20	原田 征 士	公募委員	出席
21	古田 政 子	子育て親育ち応援団with.cfc 副代表	出席
22	穂苅 健 二	新磯地区まちづくり会議 会長	出席
23	松下 啓 一	相模女子大学夢をかなえるセンター エグゼクティブアドバイザー	出席
24	森 逸 雄	大野中地区まちづくり会議 会長	出席
25	横山 真 琴	公募委員	出席